

ドリームちゅうおう

7

DREAM CHUOH
JULY 2019
No.258



今月号のCONTENTS

- 02 特集
- 04 あぐりキッズスクール
- 05 食のみやこフェスティバル
- 06 青壮年部・女性会の活動紹介 & 地域情報発信室
- 07 ～次代を担う～ & 農の匠からのメッセージ
- 08 トピックス
- 14 中部農業みらい宣言
- 15 JA information
- 16 直売所探検隊「あぐりポート琴浦」
- 17 あなたもチャレンジ! 家庭菜園 & JAイベント情報
- 18 読者からのお便り紹介/川柳
- 19 旬を食べちゃおう! おうちでごはん
- 20 クロスワードパズル



青壮年部って何？

“青壮年部”とは、JAをよりどころとして、地域農業の振興を図る農業青壮年の集まりです。JA鳥取中央青壮年部は、倉吉支部、関金支部、北条支部、大栄支部、琴浦支部の計5支部で構成。地域イベントへの参加や、子どもたちとの食農教育活動、盟友同士の交流会や研修会を、各支部や全体で活発に取り組んでいます。※盟友＝部員

青壮年部員 & 女性会員 募集中！！



婚活イベントでイチゴ狩り
バームクーヘン作り

とっても
きれいに
咲きました！



園児と一緒にひまわりの種をまいたほ場で



2018年全国大会での記念写真



大栄西瓜祭りでのイベント運営



小学生と一緒に田植え体験



地元の祭りでつくたてもちの配布



あぐりキッズスクール生ともちつき体験

青壮年部員になるには？

盟友同士の親睦をより一層深めるため、青壮年部の様々な活動の一環として、懇親会（飲み会）も随時行っています。7月25日（木）には、青壮年部の取り組みを知ってもらうきっかけ作りとして、非盟友を対象に交流会も実施します！交流会の参加、青壮年部に興味のある方は、最寄りの各営農センターへお問い合わせ・お申し込みください！

年会費 5,000円

「地上」

“農業・地域・JAを担うリーダー雑誌”
農業情勢や経営ノウハウ、全国のJA
青年組織の活動などが載っています！





女性会って何？

“女性会”とは、会員相互の交流と親睦を通じて魅力ある組織、地域づくりに努め、女性の地位と教養を高めるとともに家庭経済の安定、生活向上をすすめ、農業協同組合の発展に参画、協力することを目的に集まった女性組織です。地区ごとの各支部や専門部会などさまざまなグループによって幅広く活動を展開し、会員同士、地域との交流を深めています。

活動内容(一例)

- 視察研修
- 運動会
- 1人一枚ぞうきん運動
- 農業祭での出店
- 手芸教室
- 花の寄せ植え体験
- 葬祭マナー研修
- そばうち体験

など、各支部で楽しく活動しています♪



会員一人ひとりがぬったぞうきんを各地区の社協等に贈呈



支部合同のレクリエーション活動



クッキングフェスタ集合

今回のテーマは「減塩」でした



運動会

せいのつ
引つ張れ！



女性のつどい



フレッシュミズ部会で防災プレスレット作成



ママさん大学集合写真(H30.伊勢神宮)

女性会員になるには？

JA鳥取中央女性会では現在、女性会員拡大運動を展開中です！新規加入者には共同購入商品(500円相当)のプレゼントの他、誕生月には花の苗を贈らせていただきます。興味のある方は、最寄りの各支所組合員課までお問い合わせ・お申し込みください！

年会費 1,000円



「家の光」

“地域の暮らしに役立つ情報誌”
健康や家庭菜園、料理に手芸まで幅広い知識と情報が詰まっています！



令和元年
6月22日(土)、23日(日)の2日間、
倉吉市の大御堂廃寺跡で行われました。
今が旬の鳥取西瓜やメロン、中部のB級グルメなど
中部自慢の食が大集結しました。
ご来場いただいた皆様、
ありがとうございました！





女性会

**各支部の活動を
紹介します!!**

青壮年部



6/19 女性会ナイスミズ交流研修会

ナイスミズ会員16人が参加し、そば打ち体験と、旧国鉄倉吉線廃線跡トレッキングを行いました。

水車の郷体験工房の田中諭さんから、関金特産の明高そばの打ち方を教わり、できたてのそばをいただきながら交流を深めました。

その後、ガイドさんの案内で、旧泰久寺駅から竹林を通り、山守のトンネルの中に入るコースを散策しながら、地元の歴史についての理解を深めていました。



慎重にそばを切る会員たち

園児・児童と一緒に田植をしました ～青壮年部琴浦支部～

5月21日に、琴浦町釘にある青壮年部の田んぼで琴浦町管内の園児・児童計88人を対象に田植え体験を実施しました。この取り組みは旧東伯支部が数十年前から毎年続けていた取り組みで、食農教育の一環でもあります。

この日は盟友4人が参加し、園児・児童に田植えの仕方を説明したあと、一緒になって一株ずつ手植えをしていきました。秋には刈り取り体験、冬には保育園、こども園をまわり餅つき体験を行う予定です。



田植えの様子

地域情報

発信室

倉吉市 **クリス バンキャンペン** さん
よねだのりこ
バンキャンペン米田典子 さん

TEL: 0858-33-4667、メールアドレス: chris@mismi.group



今回登場していただくのは、倉吉市関金町で英語教室「mismi English」を開校して1年になるクリス バンキャンペンさん、バンキャンペン米田典子さんご夫婦です。

典子さんは大阪出身。クリスさんが働く教会が開いていた英語教室で出会い、1年半後に結婚。アメリカのユタ州へ渡り、典子さんはアメリカの大学で日本語を教えたのち、アメリカの子どもたちが通う小中学校で、現地の教師たちと同じように英語での授業を行っていました。渡米後もアメリカと日本を行き来していた典子さんは、大阪で倉吉市出身の方と出会い、それが縁となって今回の移住を決意。3ヶ月後には、「mismi English」の開校となりました。

「書く、読むが中心の英語学習ではなく、繰り返し英語を聞き、視覚的な教材なども使いながら英語圏の子どもたちが学ぶのと同じように習得するのが良いと思っています。カタカナ英語は忘れて、楽しく自然な英語を身につけてほしい」と明確なヴィジョンを持つ典子さん。現在、約70人の生徒を指導しています。そして、「英語を学ぶようになって自分に自信が持てるようになった」、「外国人に英語で話しかけることができるようになった」といった生徒たちからの声が一番嬉しいと典子さんは言います。

パートナーのクリスさんは、英語教室以外にもインターネットを使って鳥取県の特産品をアメリカ市場に向けて販売しており、今後は金融機関との連携も検討しながら、更に取扱品目を増やしていくことを計画しています。畑では、トマト、ズッキーニ、ブドウなどを栽培。カントリーライフを満喫しているようです。

インターネットや英語教育を通じて人々との接点を持ち、それが地域への活力にも繋がっていくお二人の活動はとても理想的だと思いました。

今後お二人は、「海外から学生を呼んで国際交流の場を作り、生きた英語を子どもたちに学んでもらいたい」と新たな目標にチャレンジします。

これからもう一度英語を勉強してみたい人、インターネットを使って自慢の一品を販売してみたい人は是非、クリスさんへ声を掛けてみてはいかがでしょうか。何度でも会ってみたいくなる、そんな人柄のお二人でした。

へ次代を担うへ

キツイけどしんどくないのが「農業」

北栄町 西瓜生産者 ^{よし み ただあき} 吉見忠亮さん(32)

今回ご紹介するのは、4年前の2015年8月号のドリームちゅうおうに新規就農者として登場していただいた吉見忠亮さんです。今回で2回目となる忠亮さんには、「今」の思いと「今後」について話を聞くことが出来ました。

忠亮さんは中学生の頃から陸上競技を始め、長距離選手として活躍した後、スポーツ推薦で東京の大学へ進学しました。大学卒業後も企業の実業団に入り陸上競技を続けていましたが、24歳の時に退団。26歳の時に生まれ故郷の京都府に戻って、配送関係の仕事に就きました。「これまで将来のことはあまり考えず、陸上競技のことだけに集中していたので、いざ実業団を離れるとなった時には何をしたらいいのか分からず、すごく困ってしまっただけ、自然豊かな環境への憧れと、妻の実家のある鳥取県北栄町を訪れた際に手伝った農作業が楽しくて、あの時の経験が農業の道を選択するのに大きく影響したと思う」と当時を振り返ります。現在も西瓜を中心に、中玉トマト、ブロッコリーを栽培しており、全作付面積は始めた頃と比べても倍以上の1.4haと順調に拡大しています。「農業にはいろんな職業の要素があると思う。書類作成や作業用資材の組み立て、栽培管理、出荷作業など一人で何役もしなければならぬ。おかげで飽きることがないし、むしろそれがやりがいになっている。キツイけどしんどいとは思わないのが農業です」と話します。「作物は毎年違った育ち方をするので、今でも試行錯誤の繰り返し。だけど、基礎がしっかりしていないければ良い結果は出せない。それは農業もマラソンも同じだと思う」と何事にも真剣に取り組む忠亮さんの姿勢が伺えます。

農業以外にも気の合う仲間たちと一緒に地元のことでも園で餅つきを行ったりと地域への貢献活動にも積極的に参加しています。今後の目標は、「花」の栽培。「周りの人々からは花の栽培は難しいと言われるけど是非、チャレンジしてみたい!」という忠亮さん。農業への思いもますます強くなっている様子です。次の4年後には、たくさん花に囲まれた忠亮さんを取材したいと思います! これからも頑張ってください!

農の



からのメッセージ

倉吉市 白ネギ生産者

佐々木 紀夫さん(68)



佐々木さんは、白ネギ栽培を始めて35年。初夏扇2号、龍まさり、春扇、坊主知らずなどの品種を1.5haの面積で栽培し、JA鳥取中央白ネギ生産部と倉吉・関金白ネギ生産部の生産部長を務めています。

佐々木さんに白ネギの魅力をお聞きすると、「ネギは派手さはないけど嗜好品と違って毎日の食卓に並べられる、なくてはならない野菜だと思う」と話し、「周年出荷できるところも魅力の一つ」だと言います。

「倉吉・関金の白ネギは高品質だけど、生産者の高齢化などもあり収量が年々減ってきている。歯止めをかけなければと考えています」と生産部長としての意気込みを語っていたが、自分のことだけでなく生産部の将来を考える強い責任感の思いが伝わってきました。

最後に、佐々木さんにとって「白ネギ作りとは」、「生きがい」だ。市場や消費者が期待してくれると、期待に応えたい!と頑張れるよ。色々な苦労はあるけど、自分が思っていた以上の作物ができることやっぱい嬉しい。白ネギ栽培は、一生続けていきます!と白ネギ作りに人生を捧げる力強い決意を話していただきました。

5/25
26

ときめきファッションフェア

北栄町の北条農村環境改善センターで「ときめきファッションフェア」が開催され、大勢の来場者で賑わいました。

会場内には流行のバッグや靴、服をはじめ、寝具、宝飾品や健康商材などが並び、来場者はJA職員やスタッフのアドバイスを受けながら、お気に入りの商品を買って求めていました。



買い物を楽しむ来場者

6/5

園児が田植え体験！

～旬鮮プラザ満菜館～

「旬鮮プラザ満菜館」が社会福祉法人みのり福祉会みのり保育園の園児13人を招き、田植え式を開きました。

直売所敷地内にある田んぼで、満菜館友の会の中原一男会長やJA職員らともち米の苗を丁寧に手で植えました。



手植えに挑戦

5/25
26

倉吉特産！ プリンスメロン売り出し感謝祭

倉吉特産のプリンスメロンを多くの人に味わってもらおうと、各場所でPR活動を行いました。

25日は鳥取市にあるトスク本店で試食宣伝会を実施。試食をした来場者からは「すごく甘くておいしい！」との声があがり、用意した100箱(1箱＝4kg)が完売しました。

26日は、倉吉メロン選果場で感謝祭を行い、進物用として特別価格での発送コーナーもあり、朝から多くの来場者でにぎわいました。



食べごろを説明する
山本節夫販売部長(トスク本店)



プリンスメロンの味を堪能中♡(感謝祭)

6/1
2

新規採用職員がボランティア活動に汗

本年度の新規採用職員6人が、第19回SUN-1N未来ウォークでボランティア活動を行いました。

地域貢献活動の一環として一昨年から参加しており、職員は各チェックポイントや横断歩道等で笑顔で誘導や声掛けをして、一緒に大会を盛り上げました。



参加者に声をかける職員

6/2

親子で田植え体験！

農事組合法人四王寺営農組合が田植え体験とアイガモ放鳥イベントを開きました。親子約60人が5aの田んぼにもち米の苗を手で植え付け、アイガモ30羽を放鳥。元気に泳ぐアイガモの姿に参加者から笑顔があふれました。

同組合は環境に優しく、安全、安心な米作りへの取り組みの一環として水稻とアイガモの循環型農業を実施しています。



アイガモを放鳥！

6/8 満菜館食農ふれあい交流会 ～らっきょう、トウモロコシ収穫体験～

「旬鮮プラザ満菜館」は「食農ふれあい交流会」を行い、沢山の親子、地域の方に参加いただきました。

8日は、北栄町の青亀恵一さんのほ場でらっきょうの収穫と根切り作業を体験！ その後、漬け方講習会と、らっきょうを使ったサラダを試食しました。

9日には倉吉市の田巻健太郎さんのハウスでスイートコーンを収穫したあと、炭火で焼きモロコシにしてそのおいしさを堪能していました♪



らっきょう、採ったよー！



親子で協力してスイートコーンを収穫！

5/27・6/17 東郷小学校3年生梨の袋掛け体験

湯梨浜町立東郷小学校3年生児童43人は5月27日、湯梨浜町で梨「二十世紀」の小袋掛け体験、6月17日には大袋掛け体験に挑戦しました。

今年度は梨「二十世紀」の古木「百年樹」への負担を考慮し、同園内の樹木への袋掛け作業となりました。

農業改良普及員が袋を掛ける意味や掛け方について説明した後、児童らは百年樹の管理をしている生産者グループ「百年会」のメンバーや普及員、JA職員らと一緒に一つ一つ丁寧に袋を掛けていきました。

「百年会」の寺地寛美会長は「みなさんに交配してもらい、立派な梨がたくさんできた。大きくなれという気持ちを込めて丁寧に掛けてほしい」と児童らに呼びかけました。

児童らは2,000枚の小袋と1,200枚大袋を掛け、9月に収穫を行う予定です。



袋掛けをする児童たち

6/14 JA鳥取中央年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

湯梨浜町にある羽衣で、36チーム、238人の年金友の会会員が参加し、日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。

団体上位12チームは7月19日に鳥取市で行われる第19回JAバンク鳥取年金友の会グラウンド・ゴルフ鳥取県大会に出場します。

おめでとうございます！

【団体の部】

優勝	三朝Aチーム	307
準優勝	大栄Aチーム	314
3位	東伯Bチーム	319

【個人の部】

優勝	三朝Aチーム	谷本いく代	46
準優勝	北条Aチーム	山本孝明	48
3位	東伯Cチーム	小濱喜和子	48



三朝Aチーム

5/28 大栄年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

【団体の部】

優勝	栄南部チーム	265
準優勝	瀬戸チーム	269
3位	大島・由良七区チーム	271

【個人の部】

優勝	手嶋武人	35
準優勝	福光延壽	36
3位	盛山英隆	37



栄南部チーム

5/29 泊年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

【個人の部】

優勝	小木幹晴	35
準優勝	椿幸子	39
3位	山田典夫	40
4位	濱邊力	41
5位	前田好枝	41
6位	賀須井道夫	41



左から椿さん、前田さん、賀須井さん、小木さん、濱邊さん、山田さん

5/30 赤碕年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

【個人の部】

優勝	吉田宏勝	50
準優勝	入江猷幸	52
3位	谷本正文	52



左から入江さん、吉田さん、谷本さん

スイカの季節がやってきた!!

いよいよスイカの本格的な出荷が6月から始まりました。
 今年は平年以上の糖度を記録する産地がほとんどで、甘くておいしいスイカに仕上がっています！各地区で出荷式やセレモニー、県知事や市長へのPR活動を行いました。
 泊西瓜の今年度の販売は終了しました。皆様のご愛顧、誠にありがとうございました！



G I登録された大栄西瓜

6/14 祝「大栄西瓜」G I登録!!

北栄町で栽培され110年以上の歴史をもつ「大栄西瓜」が地理的表示(G I)保護制度(地域の伝統的な特産物を国が守る制度)でJ A鳥取中央初の登録となりました！
 今後も、徹底した品質管理のもと産地の育成、維持、そして発展に向けて取り組んでいきます！

6/6 倉吉西瓜初出荷式

倉吉恒例の「すいかでガブリ!!」で初出荷を祝いました！



6/6 大栄西瓜初出荷セレモニー

地元保育園児も大栄西瓜のおいしさを堪能しました♡



6/10 琴浦がぶりこ 琴浦のきらり 西瓜出荷セレモニー

みんなで「いただきます！おいしい〜！」



6/17 平井県知事に「琴浦西瓜」をPR

「琴浦のきらり」(左)「琴浦がぶりこ」(右)を平井知事に贈呈しました。



6/28 石田倉吉市長に「極実西瓜」をPR

味を極めた「極実西瓜」を石田市長に贈呈しました。



6/29 大栄西瓜祭り

同時にG I登録祝賀セレモニーも行い、県内外から多くの来場者でにぎわいました。



来場者にスイカをふるまう平井知事

いつでも鮮度のいいブロッコリーを食卓へ ～琴浦ブロッコリー生産部～

5月から7月にかけて出荷する初夏採りブロッコリーが随時、出荷されています。

琴浦ブロッコリー生産部では2011年から氷詰め出荷に切り替え、フレーク状の氷を発泡スチロールに入れて出荷することで鮮度の安定を図り、産地の信頼確保に努めています。



調整作業を行う小前さん

同部の小前雄一さん(31)は「体調も考慮しながら全員が無理することなく、安定的に品質のいいブロッコリーを出荷していきたい」と意気込みを話していました。同部では周年出荷を目標に、年間通して18万2千箱(1箱=6kg)4億円の出荷・販売を目指します。

琴浦ミニトマトが順調に出荷されています！

5月から8月下旬に出荷する半促成栽培の出荷が順調に行われています。

今年は、極端な気温の温度差が少なかったこともあり、生育はおおむね順調。

琴浦トマト生産部の高塚憲雄生産部長は「消費者によるこんでもらえるトマトを作り、目標を達成できるように部としても取り組んでいきたい」と話していました。

同部では、半促成栽培、抑制栽培合わせて10haの面積で420t、3億円を目指します。



丁寧に収穫を行う高塚さん

今年の梅も高品質！

6月上旬から中旬にかけて各産地の梅が出荷されました。

今年は、暖冬の影響で開花が早まり、着果は平年並みでしたが、品質は良好で高品質な梅に仕上がりました。

琴浦町で「紅さし」を栽培する花本瑞気さん(32)は「大切に育てた梅に傷をつけないよう丁寧な収穫を心掛けている」と話しながら、一つ一つ収穫作業に汗を流していました。

J A管内では、湯梨浜町の「野花梅」をはじめ、倉吉市、琴浦町で50人が7.5haで栽培しています。



丁寧に収穫を行う花本さん

6/19 琴浦ブロッコリー畑をドローンで撮影

J A全農とつとりとNECはJ A鳥取中央琴浦ブロッコリー生産者に向けて、空撮ドローンの情報提供を行いました。

ドローンで撮影した画像から生育状況やほ場の状態が確認できます。生育状態を画像で一斉に把握することで収穫時期を明確にできることや、作業時間の短縮、長雨によりほ場がぬかるんで入れない時なども状態の確認がすばやくでき病害虫への早期対応も可能となります。ブロッコリーの個体を真上から撮影した画像では、大きさの判別が的確に行えることを確認。導入については生産部、J A、全農とつとりとで話し合いを進めていくことを確認しました。



上空から見たブロッコリー畑10m(左) 1m(右)

6/20 北条ぶどう販売対策会議～北条ぶどう生産部～

北条ぶどう販売対策会議を開きました。「デラウェア」はL級中心の大玉傾向で、「巨峰」、「ピオーネ」は、6月下旬以降の夜温が低く推移し、着色が進めば盆前出荷が期待できます。

同生産部は、105人が「デラウェア」「巨峰」「ピオーネ」を中心にほかの品種を含めて約23haで栽培。195.5tの出荷、1億8,485万円の販売を目指します。



会議の様子

★農業者の人間ドック受診料を助成いたします “健康第一！”

助成金額

- 自治体の国保人間ドック対象者の方の自己負担額(税込)部分を助成し、助成上限を20,000円とします。
- 脳ドック・オプション検査は対象外です。
- 行政の助成額は各行政によって異なります。

人間ドック 基本プラン - 行政からの助成 - J Aグループ助成 = “0円！”

助成対象

国民健康保険に加入されている65歳以下の正組合員とその家族の皆様(農業に従事されている方)

お申込期間:2019年2～8月

※国民健康保険証をお持ちください。

詳しくは各支所組合員課まで

5/31 大栄花き部会総会

2018年度の販売についての総会を行いました。

主要品目のストックや抑制ユリなどを合わせ前年対比3%増の214万8,620本を出荷し、販売額は1億7,566万円になったことを報告。2019年度は2戸の農家が加わり32戸が10.15haで栽培し、「明るく、楽しく、厳しく花栽培に取り組もう」をスローガンに、栽培記録の徹底管理や、鑑別率を向上させ製品率を高めて所得の向上を図っていきます。

6/19 営農経済渉外活動

キックオフ！

J A鳥取中央は、営農指導員と資材担当職員による営農経済渉外活動を開始しました。

J Aの総合力を生かし、両職員による農家訪問活動を展開し、農家の視点に立った提案をすることで、信頼関係の強化をはかり、購買事業の収益向上につなげていきます。

各営農センターでは一か月に2件以上のペースで訪問。その後も複数回訪問することで農家との距離をより一層縮めていきます。

6/28 「星空舞」地域研究会設立！

赤碓支所で琴浦営農センター「星空舞」地域研究会を行いました。鳥取県「星空舞」ブランド化推進協議会は、各J Aに栽培技術向上や生産普及のための生産部会と、地域の条件や生育状況に応じた管理指導や研修会を行う地域研究会を設置。生産から販売までオール鳥取による早急なブランド化を目指していきます。参加者は同時に行われた「星空舞」の栽培技術研修会で、中干しや穂肥、病虫害防除について学び、収量の確保と一等米比率の向上を目指します。

6/11 金融推進総決起大会

2019年度金融推進総決起大会を開き、J A関係者ら約110人が参加しました。

基調講演としてJ A鳥取信連J Aバンク推進部年金アドバイザーの池本準一さんが「年金振込口座獲得の重要性」と題して講演を行いました。また、優績支所には関金支所、優績複合渉外担当者には北条支所の寺田美輪さんが選ばれ、事例発表をした後、全職員一丸となってガンパロー三唱を行い意識を高めました。



ガンパロー！

農大生がらっきょう作業を応援！ 食フェスでも活躍！

J A鳥取中央の主要品目トップバターとして、らっきょうの出荷が5月17日から始まりました。栽培面積はやや減少しましたが、今年も販売高6億円を目標に生産部、J A、関係機関一丸となって取り組みました。

6月の出荷最盛期に入ったころ、らっきょう共同乾燥施設の選果作業員が急ぎょ不足し、鳥取県立農業大学校へ相談に伺ったところ8日(土)、9日(日)の2日間、10人(男女5人ずつ)が応援に駆け付け、らっきょうの選別、箱詰め作業を頑張ってくれました。その結果もあり、4年連続6億円の販売高と過去最高の10aあたりの販売実績121万円を達成。その陰には、次世代の農業を担う農大生の大きな応援があったことを報告します。農大生のみなさん、ありがとうございました！

また、6月22日、23日に行われた食のみやこフェスティバルでもブースを構え、自分たちが育てた野菜や花を一生懸命販売していました。



食のみやこフェスティバルでの様子

“琴浦産エリザベスメロン”“倉吉産タカミメロン”“湯梨浜産ペルルメロン” ～おいしいメロンに仕上がりました！～



ペルルメロン査定会

5月下旬から6月下旬にかけてそれぞれの生産部が今年の生育を確かめました。

どのメロンも平年並みの甘さとなり、自信をもって消費者のみなさんに送り出せるメロンに仕上がりました！ぜひご賞味ください！

また、エリザベスメロンの今年度の販売は終了しました。皆様のご愛顧ありがとうございました！



タカミメロン生育状況確認の様子



エリザベスメロンの生育を確認する生産者

6/1 女性会赤碕支部 ナイターレクレーション

会員約70人が参加し、体を動かす5つの種目を楽しみながら交流しました。

地区別に4つのチームに分かれ、「上から下への大騒ぎ」(玉送りリレー)や「もぐもぐタイム」(飲食早食い競争)などで楽しみ、親睦を深めていました。



息を合わせて上！下！



一つでも多く入れるわよ！！



ホールインワンを目指して真剣なまなざし

6/12 トーナメントの組み合わせ決まる

～第10回JA鳥取中央学童軟式野球大会代表者会議～

中部管内の小学生軟式野球チーム13チームの代表者がくじを引き、トーナメントの組み合わせが決まりました！

野球大会は7月27日(土)、28日(日)に分かれて行われます。また、今年は第10回の記念大会として各チームに記念品が贈られます。

今年の夏も熱い戦いが繰り広げられること間違いなしです！



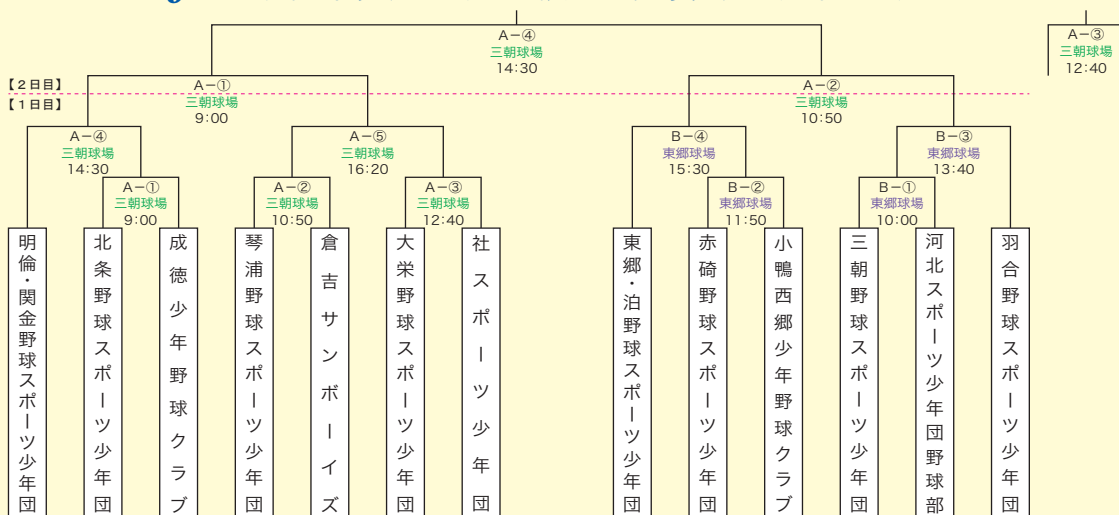
くじ引きを行う代表者

第10回 JA鳥取中央杯 学童軟式野球大会組合せ表

大会日程
7月27日(土)開会式・試合
7月28日(日)準決勝・決勝
閉会式

開催会場
A三朝球場
B東郷球場

※選手宣誓
琴浦野球スポーツ少年団
※試合時間
1時間30分
次の試合まで20分



6/12 第8期女性大学ルミナール

らっきょう漬けに挑戦！

第9回カリキュラムのらっきょう漬け講習会を中北条加工所で行いました。

JA鳥取中央女性会 北条支部の淀瀬千賀子さん、浜本弘美さんを講師に迎え、収穫されたらっきょうの根切りを行った後、薄皮を剥ぐ作業や瓶に詰める際の注意点などを教わりました。受講生は、楽しく雑談を交えながら、一人2瓶のらっきょう漬けを完成させ、食べごろの時期や保管方法、好みに合わせた味付け方法などを積極的に質問していました。



らっきょうを漬ける参加者

受講生からは「慣れない作業だったけど楽しかった。食べ頃をたのしみに待ちたい」といった声が上がっていました。

日本海テレビ「あぐりヌーヴォー」に 湯梨浜町の加工用小玉スイカ生産者 山本雅さんが登場します！

泊地区の特産品「とまり漬け」の原料となる小玉スイカ栽培にかける思いや、今後の目標についてなど4回にわたり放



取材を受ける山本さん

送されています！ぜひご覧ください！
日本海テレビ「あぐりヌーヴォー」(毎週水曜日放送)
放送日: 7月3日、10日、17日、24日 21:54～
※3日は22:54～
※放送時間は変更になることがあります

6/20 6月期いきいき農業塾

バイテクセンターで行われ、受講生19人が参加しました。JAの営農指導員よりエダマメの栽培と白ネギ



誘引作業をする受講生

の追肥・土寄せ等の説明を受け、その後、実習としてエダマメの定植とトマトの誘引作業、タマネギの収穫を行いました。受講生たちは、収穫したタマネギの保存方法や調理法等を話し合い、和気あいあいとした雰囲気の中、6月期の講座を終えました。次回の講座は7月25日、果菜類の栽培管理他を研修します。

6/11 准組合員支所運営員説明会

JA鳥取中央は准組合員の支所運営委員に向けて説明会を行いました。准組合員の位置づけや、「准組合員にかかる意思反映・運営参画促進要領」を説明。JA事業運営への意見や、支所活動などの企画・実施への積極的な参画を呼びかけました。

JAでは、JA事業利用や組織活動などを通じて、JA運営への意思反映に関心のある准組合員や日常的な



意見を話す運営委員

付き合いが深い准組合員を「地域・農村を共に支えるパートナー」として位置づけています。説明会には各支所の准組合員運営委員16人が参加。准組合員のつどい(利用者懇談会)の開催や、直売所、JAまつりなどのモニター制度の導入計画などを説明。各取り組みの意見要望は、運営改善に向けた対応を検討し、広報誌などでフィードバックすることを報告しました。

6/17 教育文化セミナー―一日日本農業新聞大会

教育文化セミナー―一日日本農業新聞大会を開き、女性会会員、青壮年部員、JA役職員ら約150人が参加しました。家の光や農業新聞を活用し、教育広報活動と情報共有による地域社会づくりに取り組み、協同組合運動の強化を図っていく事を確認しました。記念講演としてJAしまね総務部ふれあい福祉課の熱田由香さんが『家の光』ってどんな本？家活の基本はまず開



講演を行う熱田さん

いてもらうこと」と題して講演。『家の光』の記事を活用した介護予防講座や、家の光料理倶楽部の立ち上げなど自身の体験活動を発表しました。

6/19 久米支部女性会全会員研修

JA鳥取中央久米支部女性会が、全会員研修を開きました。はじめに倉吉警察署より、近年の高齢者の事故状況や鳥取県内の交通事故件数などの報告。高齢運転者を対象に行う認知機能検査を実際に行い、知識を深めました。その後、中国電力株式会社鳥取支社広報グループから、電化製品の省エネの工夫や、使い方のコツ、効果を紹介。最後に、ボディケアサロン「ノノボヌール」の坪倉彩さんから、アロマを使った虫よけスプレーを作



アロマスプレー作りに挑戦！

成しました。会員同士で会話も弾ませながら、各自がユーカリ・レモンやレモングラスなど好みの精油を混ぜ合わせ、手作りのアロマスプレーを完成させました。

6月の中部農業 みらい宣言



会見を行う栗原組合長

6月の中部農業みらい宣言は、北栄営農センターで行い、JA鳥取中央で初めて「大栄西瓜」がGI登録されたことを報告しました。会見の中で栗原組合長は「地域ブランドとしてGIの名に恥じぬよう超スーパーブランドをめざしさらに努力を重ね、産地の発展をはかっていく」と決意を示しました。

農産物の出荷販売状況については、らっきょう、スイカ、メロン、大原トマトについて報告。らっきょうは、4年連続で販売金額6億円の大台を超え、10aあたりの販売高は過去最高の121万円を突破しました。

またJA自己改革の中で立ち上げた「みらいサポート愛」では今年、管内8か所のこども食堂に農産物や、農畜産物引換券を年に7回届け、地域とのかかわり、絆を深めていくことを伝えました。

直売所探検隊



あぐりポート琴浦
KOTOHIRA

東伯郡琴浦町別所243

TEL / 55-6336 定休日 / なし

営業時間 / 9:00~18:00



笑顔の花を咲かせます♡

さいが あきこ

財賀明子さん(49歳) 琴浦町佐崎

今回登場していただくのは、あぐりポート琴浦に花の苗を出荷している財賀明子さんです。

結婚を機会に営業事務を辞め、ご主人・お義母さんと一緒にハウス8棟で年間を通して花苗の栽培と出荷を行っています。

最初の頃は慣れない体勢の仕事で腰痛にもなりましたが農業を始めてから風邪をひかなくなったそうです。「農業は体力が続けば一生できる仕事。家族で分担・協力しながら仕事ができるので、自然と互いの仕事の確認で会話も弾んで楽しいですね」10年前からはお義母さんに替わり直売所への出荷を担当しています。いまの時期はジニア、ガザニア、ベコニア等10種

類以上の花苗のほか寄せ植えの鉢の出荷もあります。「花苗は今の時期に育つちょうど良いものを出荷しています。今後は宿根草の種類を増やしたり、今まで作ったことのない花にも色々と挑戦してみたいです」と語る財賀さん。最近では公民館や女性会等から寄せ植え教室の講師の依頼を受ける事も多いそうで、出荷の際に「先生ですよ?!!」と声をかけられ植え方の相談をされる事も。

「新鮮な苗を並べていますが、苗によっては水のやりすぎで根腐れするものもあります。よければ気軽に声をかけて下さい」と満面の笑顔で語って下さいました。

花苗のほかにも、小さい頃から続けてきた編み物などの手芸品も店内で販売されています。顔写真のエプロンもお手製でよく似合っていますよね♡

あぐりポート琴浦では、切り花、花苗も良く売れております。また、生産者の夏野菜も続々入荷中！そして、いよいよデラウェアから始まるブドウのシーズン到来です！高級ぶどうもたっぷり入荷しますのでぜひご来店ください！お待ちしております！



色取り取りの花苗たち



新鮮野菜がいっぱい!



財賀さんの手芸品

お盆の準備は直売所で!



ぶどう・ハウス二十世紀梨・盆花ほか

たくさん取り揃えています。

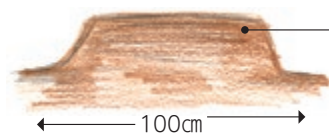
是非お近くの直売所へお立ち寄り下さい。



あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ニンジン

ニンジン(人参)はカロテンが豊富でビタミンAも多く、緑黄色野菜の代表種。元来、冷涼な気候を好みますが、温度適応性の幅はかなり広く、とくに根部は気温の影響を受けにくいので、肩まで土をかけておけば越冬も容易です。種は軽く、発芽がそろいいくいので、まき溝をていねいにつく、薄く土をかけ、まいた後に軽く押さえます。とくに夏まきでは、降雨の後か、乾いていれば溝全体に水やりしてからまきます。間引きが遅れて株間が込み合うと、根の肥大が遅れ、形が悪くなるので注意しましょう。

畑の準備

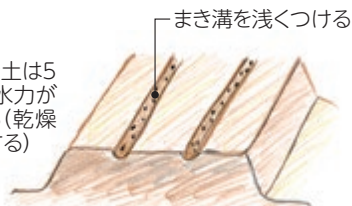


畑は深く耕す。堆肥は前作に多量に施してあれば、施さなくてよい

荒起し
苦土石灰100~120g/m²
堆肥2~3kg/m²
(よく腐っているもの)
元肥
化成肥料100g/m²
(N・P・K=8・8・8)

種まき

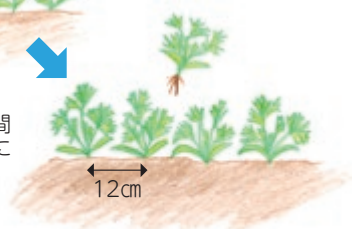
種はまき溝に条まきする。覆土は5mm程度。ニンジンの種は吸水力が弱いので、乾燥に注意する(乾燥が続くようなら敷きわらをする)



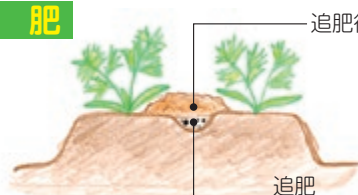
間引き

本葉2枚ころに、込みすぎたところを間引く。ニンジンのばあい、雑草が早く伸びるので、除草を念入りにする

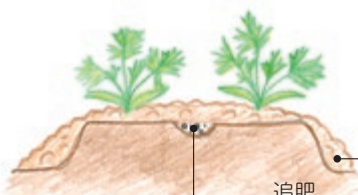
本葉5、6枚ころに2回目の間引きをする。肥切れと乾燥に注意する



追肥



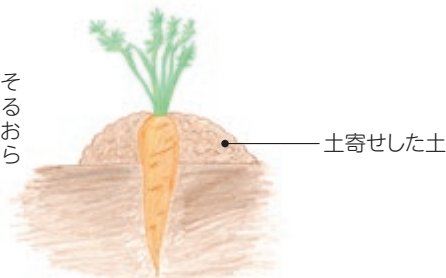
1回目の間引きの後、条間に追肥し、覆土しておく



2回目の間引きの後、追肥と同時に土寄せする

土寄せ・収穫

根が露出するとその部分が緑化するので、土寄せしておく。根が肥大したら収穫する



JAイベント情報

コイン精米機の稼働について



この度、Aコープ下北条店前のコイン精米機を最新式のクボタクリーン精米機に入れ替え、6月22日より稼働しています。

もみ・玄米からでも高品質なクリーン白米に仕上がります。皆様のご利用をお待ちしています。

(株)JA中央サービス 農業機械課
北栄農機センター

表紙の写真説明



はまべ ちから 濱邊 力さん(63)・喜美代さん(61)

今月の表紙は、加工用小玉スイカを栽培する濱邊さんご夫婦です！二人は10aの面積で栽培し「暑い時期の収穫は大変だけど、手をかけた分だけ育ててくれて、応えてくれるのでやりがいを感じますね。部会に新しい仲間も増えたらなお、うれしいです！」と満面の笑顔をいただきました♡喜美代さんの腕の中にある収穫された小玉スイカが工場加工されて、力さんが持つ、泊特産のごはんのお供にぴったりな「とまり漬け」になるんです！濱邊さんたち生産者が丹精込めて作ったスイカを使った「とまり漬け」ぜひ一度ご賞味ください！各直売所、泊支所、土産店で購入できます♪

読者からの お便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題
最近、有難いなあ〜と感じた事を教えて下さい。

い物に来てくれるととってもありがたいと感じます。

(山根さん)

■玄関に花が欲しいなと思えば隣の奥さんが花を！そら豆が食べたいなと思えば遠くの友が！まんじゅう食べたいなと思えば友達が夕方に！とほんとに有難いなあ〜と感じる毎日です。

(なつぞらさん)

■とりあえず、健康な身体と私に文句も言わず支えてくれる夫の存在です。

(牧本さん)

■春に県外に嫁いだ娘がラインやインスタグラムで近況や料理の写真を送ってくれる。娘の気付けがうれしくて感謝しています。(せつちゃんさん)

■四国八十八ヶ所めぐりをやっています。車で回っていますが、カーナビで迷うこともあり、地元の人に道案内していただくこともあり、感謝しながら巡礼をしています。

(伊藤さん)

■グチを聞いてくれる友人がいて、感謝しています。次の日はがんばって仕事にいきます。(小椋さん)

(伊藤さん)

■勤めを辞めて、年金生活。2ヶ月に1回の年金もありがたいけど、毎月いただける給料のありがたみが身に染みてわかりました。

(踊り子さん)

■くよくよしてしまう私を笑わせてくれる沢山の人たち。一緒にいてくれることがありがたいです。

(えりんこさん)

■ひとり暮らしの私に、近所のおちびちゃん(3才位)が会う度に「おはようー」とか「こんにちわ」と可愛く挨拶してくれる事が本当に可愛くてありがたいですね。

(猫口ツクさん)

■母親のリハビリについて、ケアマネジャーさんが親身に相談にのってくれたこと。

(池本さん)

■自営業を始めて16年になります。開店当時小さかった子どもたちがお母さん、お父さんになり買

お待ちしております。

暮らしのうた川柳

課題「金」

鈴木 公弘 選

夕日が染める金色の湖に立つ
大金を持った夢みて落ち着かぬ
少子化で金の卵の時代来る
と金になれず歩のままを生きるのか
虎の子の貯金狙ってくる電話
初月給を孫は定期にするという
金貸して友だち一人減りました
愛添えて日々のお金を慈しむ
金儲けに走る医者には通わない

【今月の佳吟】

年金を待つてつらき日暮れどき

倉吉市 堀 かずこ

(評) 定年後一定期間の余生を営むためには、公的年金のほか二千万円が必要だという見解を金融庁の審議会が報告書にして提出したところ、所管大臣の麻生太郎氏は受け取りを拒否した。現在の年金制度では一人当たり月額五万五千円足りないという。現政府には年金支給額を増やす考えなど全くないから、金融の専門家に痛いところを指摘され、赤恥をかかされたぐらいの気持ちだろう。あたかも嘘を塗り固めた付度行政を要求しているかのような発言である。多くの民は日が暮れて気温が下がってくると、年金日を待つことすら骨身に染みて、倒れ込みそうになるのである。

(投句総数55)

※次号の課題は「影」です。締切7月19日(金)必着

住所、氏名、雅号もフルネームをご記入下さい。電話番号、作品1人三句以内を裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。

◆今後の課題「泳ぐ」 締切8月23日(金)予定



旬をたべちゃお♪

おうちでごはん!



小田 秀 料理探究家

ヘルシー! おしゃれ♥なCaféレシピに定評がある。
安全安心な食材を用いた、健康を意識した料理を探究中。料理教室を開催している。管理栄養士、サプリメントアドバイザー、健康運動指導士などの資格を持つ。

梅雨が明けて本格的な夏に入り、涼しげな風鈴の音が聞こえる季節となりました。旬のかぼちゃを使ったサモサを紹介します。

かぼちゃのサモサ

夏に食べたいスパイス香るサモサです。パリパリとした生地にかぼちゃのホクホク感とスパイシーさ、さらにレーズンの甘みが、口いっぱいに広がります。

材 料(4人分)

※	合いびき肉……………100g	☆	レーズン……………15g
	玉ねぎ……………50g		クミンシード…小さじ1
	油……………小さじ1		カレー粉……………小さじ1
	塩……………小さじ1/2		シナモン……………小さじ1
	こしょう……………少々		春巻きの皮……………6枚
	ウスターソース…大さじ1		小麦粉……………大さじ1・1/2
	かぼちゃ……………150g		(水大さじ1で溶く)
			揚げ油……………適量

作り方

- ① 玉ねぎは粗みじん切りにする。フライパンに油を温め、中火で玉ねぎがすき通るまで炒める。合いびき肉を加え、ほくしなから肉の色が変わるまで炒める。弱めの中火にし、塩、こしょう、ウスターソースを加え、汁気がなくなるまで炒める。
- ② かぼちゃは耐熱皿に並べ、ラップをかけて電子レンジ(500W)で3分加熱し、皮ごとフォークでつぶす。
- ③ ②のかぼちゃに※、☆を加えて混ぜ、バットにとり出し、広げて冷ます。
- ④ 春巻きの皮を半分に切り、③を12等分にして包む(三角に巻いた春巻きの皮を手のにのせ、たねを入れて巻く。たねののった部分を対角線上に折り、包み終わりに水溶き小麦粉をつけてとめる)。
- ⑤ 揚げ油を中温に熱して④を入れ、約4分かけてきつね色にパリッと揚げる。



サモサは、インドなどで食べられているフィンガーフードです。ゆでつぶしたじゃがいもや肉などを香辛料で味付けし、小麦粉で作った皮で包んで揚げた料理です。

【お願い】

片面全てにのりを付け、“**全面密着**”でご投函していただきますようお願いいたします。

※「のりしろ」部分に空洞があった場合、郵便ハガキとして受理されない場合がございますので、ご注意ください。

折
り

のりしろ

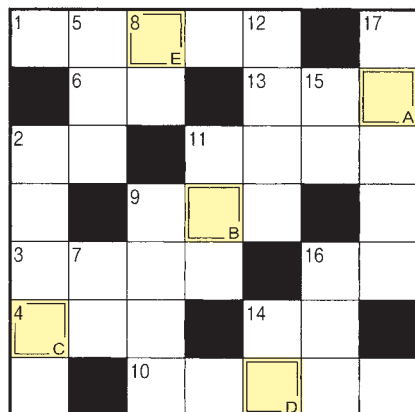


アタマの体操 クロスワードパズル

今月のプレゼントは
ピオーネ



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A	B	C	D	E



夏号の答え

ブルーベリー

タテのカギ

- 夏休みの最終日に慌てて片付ける子もいます
- 酒のお供です
- 建具の滑りを良くするために敷居に塗ることも
- 脂—、糖—、たんぱく—
- 野球のピッチャーが登る所
- その人が住んでいる所。彼は—の名士だ
- ロケットが飛び立つ先
- 鶴と並んでめでたい生き物
- 芝居の最後に下ろす物
- 上野動物園生まれのシャンシャンは何の動物？
- イチゴ味やメロン味のシロップを掛けて食べます。パッピンスやハロハロもこの一種

ヨコのカギ

- 令和元年は8月8日。暦の上ではもう秋です
- 日焼けした後にできることも
- 彼女の料理の腕前は—はだしだ
- アップの反対語です
- 竹や梅と並んでめでたい植物
- こすれてすり減ること
- 五輪で3位の選手の首に掛けられます
- 辞書で四字—の意味を調べた
- おこわを竹の皮でくるんだ中華—
- 握りずしを数えるときに使う言葉
- フランスの首都。花の都といわれます

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 7月22日(月) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課
- FAX 23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう7月号」良かった記事は？(複数回答可)

- | | |
|---|--|
| ☐ 表紙 | ☐ 中部農業みらい宣言 |
| ☐ 特集 | ☐ 直売所探検隊 |
| ☐ あぐりキッズスクール | ☐ あなたもチャレンジ!家庭菜園 |
| ☐ 女性会・青壮年部の活動紹介 | ☐ 読者からのお便り紹介 |
| ☐ 地域情報発信室 | ☐ 暮らしをうたう川柳 |
| ☐ ～次代を担う～農の匠からのメッセージ | ☐ 旬をたべちゃおう!おうちでごはん! |
| ☐ トピックス | ☐ クロスワードパズル |

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。) ※クロスワードの「クロスワードパズル」の答え

A	B	C	D	E

●次号のお便りのお題「変わってほしくないなあ～と思うもの」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

(ペンネーム:)

郵便はがき

料金受取人払郵便

倉吉局
承認

462

差出有効期間
2021年2月
7日まで

切手不要

6 8 2 8 7 9 0

鳥取中央農業協同組合

総務部 広報課 宛

倉吉市越殿町1409

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。